

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 造形美術情報交流（派遣）
- (3) 造形美術情報交流（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 美術交流促進国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する造形美術分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 30,051,420 円

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1 東アジアクリエーター招へい	Gustaff Harriman Iskandar	コモンルームネットワークス・ファウンデーション	インドネシア	2008. 04. 01 ~ 2008. 07. 31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図った。
	Hafiz	ディレクター/キュレーター OK. ビデオ アーティス	インドネシア		
	Nurdian Ichsan	ティック・ディレクター/キュレーター	インドネシア		
	Em Vannooun	バンドン工科大学 美術デザイン学部 講師/陶芸家	インドネシア		
	Charles Lim	陶芸家	カンボジア		
	Mohamed Arif bin Zaini	現代美術家	シンガポール		
		シンガポール・インスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アート 展示担当	シンガポール		
	Penwadee Nophaket Manont	ジム・トンプソン・アートセンター 展示コーディネーター	タイ		
	Pratchaya Phinthong	現代美術家	タイ		
	Danielle Naomi Lasat Uy	フィリピン大学 学生	フィリピン		
	Gary-Ross Pastrana	現代美術家	フィリピン		
	Artison Bin Haji Mohamad	リーガルブルー ビデオ・エディター	ブルネイ		
	Kim Ngoc	現代音楽家	ベトナム		
	Chang Yoong Chia	現代美術家	マレーシア		
	Yap Sau Bin	マルチメディア大学 クリエイティブマルチメディア学部 講師/現代美術家	マレーシア		
	Kyaw Kyaw Winn	ミャンマー写真家協会写真家	ミャンマー		
	Somsaveng Khounpasirth	国立美術学校 学生	ラオス		
Souvanhtho Khamphixay	国立美術学校 学生	ラオス			
Antra Sinha	陶芸家	インド			
Mithu Sen	現代美術家	インド			
Aedan Harris	シドニー芸術大学 学生	オーストラリア			
Wade Marynowsky	現代美術家	オーストラリア			
Carl Shuker	小説家	ニュージーランド			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
2	東アジアクリエーター招へい (第2期準備)				2008.08.01 ~ 2009.07.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る事業。各種調査他、第2期の招へい準備を行った。

1. 人物交流事業費 / (2) 造形美術情報交流 (派遣)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 355,580 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日豪美術フォーラムに対する専門家派遣	塩田純一 小崎哲哉	東京都庭園美術館 副館長 ジャーナリスト、エディトリアルプロデューサー	オーストラリア	2008.06.15 ~ 2008.06.17	アジア・リンクが日豪間の交流を担う美術専門家計約20名を招いて日豪間の美術交流について協議を行う「日豪美術フォーラム」に対し、専門家2名を派遣。2006年日豪交流年のフォローアップ事業

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 造形美術情報交流(招へい)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 4,428,898 円

	事業名	氏名	所属機関	現職	対象国	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2008美術記者招へい	Yu Tong Hyun Yuan Lei Franciscus Xaverius Mulyadi Phatarawadee Phataranawik Damini Purkayastha Gary Michael Dault Kyle Bentley Edgar Alejandro Hornandez Adriana Polveroni Jennifer Higgie Martin Herbert Catrin Lorch Emmanuelle Lequeux	Wolgan Misool Southern Weekend Bentara Budaya Nation Multimedia Group Public Hindustan Times Artforum Excelcior Newspaper Repubblica frieze Art Review Southern German Newspaper Le Monde	Editor Journalist Director Assignment Editor Reporter Free-lance writer Reviews Editor Editor Collaborator Editor Editor Author Editor	韓国 中国 インドネシア タイ インド カナダ 米国 メキシコ イタリア 英国 英国 ドイツ フランス	2008.09.11 ~ 2008.09.16	横浜トリエンナーレと国際交流基金の活動を海外において幅広く広報するため、海外メディアに所属または寄稿している美術記者等を、同トリエンナーレのオープニングに招へいた。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 80,895,420 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1	第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ地区	2008.09.14 ~ 2008.11.23	五十嵐太郎コミッショナーのもと、EXTREME NATURE: Landscape of Ambiguous Spaces と題する展示を実施。出品作家は石上純也 (建築家) と大場秀章 (植物学者)
2	第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ	バンガラデシュ	ダッカ	ダッカ市内	2008.10.22 ~ 2008.11.20	日本参加はコミッショナーを植松由佳 (丸亀市猪熊弦一郎美術館学芸員) に委嘱、出品作家は米田知子および須田悦弘
3	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 (準備)	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ地区	2008.04.01 ~ 2009.03.31	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展のコミッショナー選考および出品作家の選定。作品製作準備

2. 催し等事業費 / (2) 海外展 (企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 83,898,701 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1	KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia	インドネシア	ジャカルタ バンドン ジョクジャカルタ	タマン・イスマイル・マルズキ Selasar Sunaryo Art Space Jogja National Museum, Cemeti Art House	2008.04.19 ~ 2008.05.18	日インドネシア友好年を記念して、インドネシアのジャカルタ、ジョクジャカルタ、バンドンの3都市で同時に、日本の現代美術、音楽、ファッション、マンガ、写真、映像、パフォーマンス等を分野横断的にかつ総合的に紹介
2	日伯現代美術展	ブラジル	サンパウロ	サンパウロ近代美術館	2008.04.10 ~ 2008.06.22	サンパウロ近代美術館と共催で、それぞれ20組の日本とブラジルの現代アートのアーティストを紹介
3	WA:現代日本のデザインと調和の精神展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008.10.22 ~ 2009.01.31	パリ日本文化会館において、柳宗理から現代までの日本のデザインプロダクト161点を紹介。食器、情報機器、水まわり、などの12のカテゴリーと、「ミニマル」「クラフト」など日本のデザイン文化を代表する6つのキーワードを提示し、デザインへの理解を促進。

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
4	ロシアにおける現代広告写真展	ロシア	モスクワ	ヴィン・ザボッド	2008. 11. 25 ～ 2008. 12. 14	日本広告写真家協会APAアワード2008を受賞した、優れた日本の広告写真を展示。現在の日本の広告写真文化を伝える。
5	日本広告写真展	シンガポール	シンガポール	南洋芸術学院 ギャラリー	2009. 02. 10 ～ 2009. 03. 17	日本広告写真家協主催のAPAアワード2008受賞作を中心に、日本の優れた広告写真約90点を展示。
6	エモーショナル・ドローイング展	韓国	ソウル	Seoul Olympic Sports Promotion Foundation (SOMA Museum of Art)	2009. 02. 19 ～ 2009. 04. 19	アジア・中東の作家によるドローイング、アニメ、インスタレーションを中心とした展覧会。本展は2005年度から開始したアジア次世代美術館キュレーター会議の成果展でもある。
7	日本の美しい本展	ロシア	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館	2009. 02. 27 ～ 2009. 03. 17	「第42回造本装幀コンクール」受賞33作品の展示と柏木博武蔵野美術大学教授の講演会を実施し、日本の優れたブックデザインを紹介。
8	第13回パングラデシュビエンナーレ巡回展	タイ	バンコク	100トンソン ギャラリー	2009. 03. 03 ～ 2009. 03. 29	日メコン交流年記念事業。第13回パングラデシュ・ビエンナーレに出品した米田知子、須田悦弘の作品を展示し、アーティストトークや、コミッション植松由佳のキュレーター・トークを実施。
9	日メコン交流年 (準備)	カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス			2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年の日本とメコン5カ国の交流年を記念する、美術を中心としたイベントを企画。2008年は、これらの国々の現地の美術状況調査し、美術展開催準備を実施
10	パリPOP展 (準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年7月初旬に開催されるJAPAN EXPOに連動したパリ日本文化会館での展示に関する準備業務
11	パリ写真展 (準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	2009年パリ日本文化会館で開催する「旅」をテーマとする写真の展覧会の準備業務。現地調査と本展覧会が参加した写真ビエンナーレ、第2回Photo Quaiの主催者であるケ・ブランリー美術館関係者と準備会合を実施。
12	デザイン展 (準備)	ハンガリー ドイツ ポーランド	ブダペスト エッセン ワルシャワ		2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	平成21年度にドイツ、ハンガリー、ポーランドを巡回する「WA：現代日本のデザインと調和の精神」展に関する準備業務。

## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化を紹介する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 157,041,426 円

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
1	日本の現代写真展	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2008.04.04 ~ 2008.05.17	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟ら23名の写真家による、計76点の作品を紹介
			エジプト	カイロ	ムバラク公立図書館	
		ラトビア	カイロ	サウイ文化センター	2008.07.21 ~ 2008.07.29	
			アレクサンドリア	アレキサンドリア芸術センター	2008.08.03 ~ 2008.08.17	
			リガ	ラトビア国立歴史博物館	2008.09.03 ~ 2008.09.28	
ヨルダン	アンマン	アンマン市役所ホール	2009.02.10 ~ 2009.02.24			
2	写楽再見展	中国	香港	香港大学美術博物館	2008.04.09 ~ 2008.05.18	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介
			シンガポール	シンガポール南洋芸術学院	2008.06.14 ~ 2008.07.12	
		中国	重慶	重慶大学芸術学院展示ホール	2008.09.07 ~ 2008.09.15	
		インド	瀋陽	瀋陽市図書館	2008.09.24 ~ 2008.10.05	
			大連	大連図書館白雲美術館展示ホール	2008.10.10 ~ 2008.10.18	
			杭州	浙江工商大学	2008.11.14 ~ 2008.11.30	
			深セン	華・美術館	2008.12.09 ~ 2008.12.23	
			ムンバイ (ボンベイ)	PLディシュパンデ・カラダラン (アートギャラリー)	2009.01.24 ~ 2009.01.30	
			チェンナイ	ラリット・カラ・アカデミー	2009.02.09 ~ 2009.02.20	
			コルカタ	アカデミー・オブ・ファインアーツ	2009.03.05 ~ 2009.03.13	
			ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー	2009.03.27 ~ 2009.04.09	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
3	熊本アートポリ ス展	ニュージーラン ド  オーストラリア     スリランカ  トルコ  イエメン	ダニーディン  クライスト チャーチ パース  ブリズベーン  キャンベラ  シドニー  コロンボ  アンカラ  サナア	オタゴ博物館 1877ギャラリー ソファ・ギャラ リー セントラルTAFE アート・ギャラ リー クイーンズラン ド工科大学美術 館 キャンベラ大学 デザイン・ギャ ラリー 国際交流基金シ ドニー日本文化 センター ナショナル・ アート・ギャラ リー 現代美術セン ター サヌア大学	2008.04.12 ～ 2008.04.30 2008.05.07 ～ 2008.05.25 2008.06.06 ～ 2008.06.21 2008.07.03 ～ 2008.07.27 2008.08.08 ～ 2008.08.30 2008.09.10 ～ 2008.09.27 2008.10.28 ～ 2008.11.02 2008.12.01 ～ 2008.12.15 2009.03.04 ～ 2009.03.17	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
4	パラレル・ニッ ポン 現代日本 建築展1996-2006	フランス  ドイツ  イタリア  スーダン  アルジェリア	パリ  ミュンヘン  ミラノ  ハルツーム  アルジェ	パリ日本文化会 館 バイエルン州内 務省最上級建設 局（エントラン スホール） アーバン・セン ター・ミラノ ブルジュ・エル ファーフティフホ テル アルジェリア国 立図書館	2008.04.16 ～ 2008.06.21 2008.07.21 ～ 2008.09.12 2008.11.14 ～ 2008.11.28 2009.01.05 ～ 2009.01.26 2009.03.18 ～ 2009.03.31	過去10年間（1996年－2006年）に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、我が国の社会文化状況と対比させながら紹介
5	90年代の日本絵 画展	米国	オランダ	コーネルファイ ンアートミュー ジウム	2008.04.17 ～ 2008.08.24	現在高い評価を得ている会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎知恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを30点の作品から紹介



造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
6	現代日本の工芸展	デンマーク ドイツ スウェーデン ベラルーシ ウクライナ	ヨリング オッフエンバッハ ストックホルム ミンスク ゴメリ ドネツク	ヴェンシュッセル美術館 ドイツ皮革博物館 国立東アジア博物館 ベラルーシ国立美術館 ゴメリ宮殿・公園アンサンブル ドネツク州美術館	2008.05.03 ~ 2008.05.31 2008.06.15 ~ 2008.08.17 2008.09.14 ~ 2008.10.19 2008.11.14 ~ 2008.11.23 2008.12.04 ~ 2009.01.05 2009.02.19 ~ 2009.03.29	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類して紹介
7	現代日本の陶磁器展	インドネシア 米国 モンゴル マレーシア	スラバヤ マカッサル ジャカルタ グアム ウラン・バートル ペナン クチン	JW・マリオット・ホテル・スラバヤ インベリアル・アルヤドゥータ・ホテル・マカッサル、ロビー・スペース ジャカルタ日本文化センター グアム大学イスラセンター ザナバザル美術館 マレーシア科学大学芸術学部 サラワク州立図書館	2008.05.05 ~ 2008.05.18 2008.06.09 ~ 2008.06.20 2008.07.18 ~ 2008.08.04 2008.08.28 ~ 2008.10.03 2008.10.20 ~ 2008.11.16 2009.01.12 ~ 2009.02.06 2009.02.20 ~ 2009.03.15	伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で優れた作品を制作している若手作家の作品を紹介
8	武道の精神展	ウルグアイ ブラジル トリニダード・トバゴ メキシコ 米国	モンテビデオ リオ・デ・ジャネイロ ポートオブスペイン メキシコ フォートウエイン ノバイ	外務省展示ホール（サントス宮殿） 国立歴史博物館 国立美術博物館 国立文化博物館 IPFW大学、郡図書館 ノバイ市役所	2008.05.06 ~ 2008.05.20 2008.06.10 ~ 2008.07.27 2008.09.02 ~ 2008.09.18 2008.10.22 ~ 2008.12.01 2009.01.11 ~ 2009.02.09 2009.02.17 ~ 2009.03.13	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
9	日本人形展E	フィンランド フランス ブルガリア モロッコ	ヘルシンキ ストラスブール ソフィア ラバト	マルミタロ文化センター（ヘルシンキ市文化局） バビヨン・ジョセフィース 国立海外美術館 在モロッコ日本国大使館多目的ホール	2008.05.06 ～ 2008.05.31 2008.09.10 ～ 2008.09.28 2008.11.11 ～ 2008.11.25 2009.02.23 ～ 2009.03.06	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
10	現代日本デザイン展	ブラジル スロベニア	クリティーバ ベレン マナウス ブラジリア レシフェ ポルト・アレグレ リュブリャナ	カーザ・アンドラーデ・ムリシ展示会場 「11の窓」文化会館 バラシオ・ダ・ジュステイッサ州文化センター ブラジル連邦貯蓄銀行本社 リカルド・ブレナン博物館 ジュリオ・デ・カスチリョス美術館 リュブリャナ市立博物館	2008.05.08 ～ 2008.06.01 2008.06.11 ～ 2008.07.06 2008.07.16 ～ 2008.08.11 2008.08.20 ～ 2008.09.15 2008.09.30 ～ 2008.10.19 2008.11.11 ～ 2008.11.29 2009.02.03 ～ 2009.03.13	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介
11	手仕事のかたち展	チェコ ドイツ アイスランド パキスタン カザフスタン	ブラハ ヴォルフスブルク レイキャビク イスラマバード ラホール アスタナ アルマティ	ブラハ市国立ギャラリー ヴォルフスブルク市庁舎 国立大学図書館 国立美術館 アルハムラ美術館 初代大統領博物館 カスチェーエフ国立美術館	2008.05.08 ～ 2008.06.23 2008.07.10 ～ 2008.07.28 2008.09.06 ～ 2008.10.05 2008.11.26 ～ 2008.12.16 2009.01.06 ～ 2009.01.17 2009.02.09 ～ 2009.02.23 2009.03.06 ～ 2009.03.21	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
12	日本人形展F	米国  エクアドル カナダ	スポーカン  キト オタワ モントリオール	ムコガワ・ フォートライ ト・インステ テュート日本文 化センター エクアドル国立 文化会館 高橋道場 手工芸カナダ協 会	2008.05.10 ～ 2008.06.20  2008.07.03 ～ 2008.07.22 2008.09.12 ～ 2008.10.15 2008.11.05 ～ 2008.12.06	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、 古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人 形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形な ど約70点を紹介
13	自然に潜む日本 展	ベトナム  韓国  パプアニューギ ニア	ハノイ  ホー・チ・ミン 釜山 済州  ソウル ポートモレス ビー	越国立美術博物 館 ホーチミン市青 年文化会館 海雲台文化会館 在済州総領事館 公報文化セン ター「たむな・ ほーる」 在韓国大使館公 報文化院 国立美術博物館	2008.05.16 ～ 2008.05.25 2008.06.29 ～ 2008.07.11 2008.10.01 ～ 2008.10.12 2008.10.27 ～ 2008.11.05 2008.11.10 ～ 2008.11.21 2009.02.12 ～ 2009.02.26	矢萩喜徳郎（写真家）が「ありのままに日本の自然をみ つめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上が らせよう」と日本全国を巡り撮影した写真集「Hidden Japan－自然に潜む日本」から選ばれたモノクロ写真85 点を紹介
14	日本の子ども60 年展	タンザニア  ボスニア・ヘル ツェゴビナ ドイツ イラン  サウジアラビア  カメルーン	ダルエスサラーム  サラエボ ケルン テヘラン  リヤド  ヤウンデ	ダルエスサラーム・フランス文 化センター アート・ギャラ リー ケルン日本文化 会館 サーダーバード 文化コンプレッ クス プリンス・ファ イサル・プラス ティックアート センター ヤウンデ市役所	2008.05.27 ～ 2008.06.13 2008.07.29 ～ 2008.08.11 2008.09.12 ～ 2008.10.31 2008.11.20 ～ 2008.12.03 2009.01.11 ～ 2009.01.19 2009.03.09 ～ 2009.03.20	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後 から現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという 趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の写真家により 撮影された子供達の写真100点を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容
15	スピリトを写す展	フィリピン 米国	マニラ サン・アントニオ ワシントンD.C.	国立博物館 ブルースター・コンテンポラリー アートセンター 在米大使館広報文化センター	2008.06.02 ~ 2008.07.31 2008.09.04 ~ 2008.10.19 2008.12.01 ~ 2009.03.06	精神的な基盤が失われた時代に物質的な現実に隠された未だ見えないものが持っているであろう価値を表現しようとする細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の作家たちの姿を作品60点を通して紹介。
16	新世代アーティスト展	チリ アルゼンチン コロンビア ベネズエラ カナダ	サンティアゴ ブエノス・アイレス サンタ・フェ・デ・ボゴタ カラカス トロント	チリ大学芸術学部付属現代美術館 ブエノス・アイレス市立エドワイド・シボリ美術館 ビルヒリオ・バルコ図書館 コープバンカ文化センター 国際交流基金トロント日本文化センター	2008.06.19 ~ 2008.08.03 2008.08.30 ~ 2008.09.21 2008.10.16 ~ 2008.11.17 2009.02.04 ~ 2009.02.14 2009.03.10 ~ 2009.06.09	モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の現代美術作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介
17	out of the ordinary/ex-traordinary展	英国	オールダム	ギャラリー・オールダム	2009.01.24 ~ 2009.03.28	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現—日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
18	ウィンター・ガーデン展 (準備)	全世界区分困難				新規巡回展として「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」展を制作。60年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品（平面作品、映像等）から構成され、企画は美術評論家の松井みどり。本年は準備業務として、作品購入や輸送業者選定、国内における披露展の準備等を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 国内展 (企画展)

諸外国の優れた美術・文化のうち、これまで日本で紹介される機会の少なかった展覧会に、基金が国内関係者と協力して主催する。

合計額 2,607,637 円

	事業名	会場	期間	事業内容
1	エモーショナル・ドローイング展	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館	2008.08.26 ~ 2008.10.13 2008.11.18 ~ 2008.12.21	拡張するドローイングの現在を、アジアと中東の作家16名の最新作によって提示する展覧会。ドローイング、水彩、映像、インスタレーションを展示。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 海外展 (助成)

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,733,765 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
1	Environmental art object Stone. Fog	ラトビア	サビレ	Pedvale Open Air Art Museum	Pedvale ltd.	2008.04.01 ~ 2008.10.31	ラトビアの彫刻家と「霧の彫刻家」中谷芙二子のコラボレーション展示。石と霧による環境芸術を展開する
2	DIGITAL MEDIA. INTERNATIONAL DIGITAL ART EXHIBITION	スペイン	バレンシア	La Nau, Universidad de Valencia	LA SALA NARANJA	2008.04.17 ~ 2008.05.18	バレンシア大学で行われる「デジタル・アート・フェスティバル」世界各国からデジタル・アーティストが集まり、日本からはアーティスト遠藤研二氏が招聘された。ワークショップ等のイベントも実施。
3	RAVY	カメルーン	ヤウンデ	National Museum CCF	Les Palettes du Kamer	2008.04.20 ~ 2008.04.27	2006年フランスで開催されたl'ete des artsに参加した芸術家の提案により9カ国の芸術家が出品し開催された交流展。日本からは4名が参加
4	Tatsuo Miyajima Numeric Light Sculpture	ドイツ	レックリングハウゼン	Kunsthalle Recklinghausen	Kunsthalle Recklinghausen	2008.05.04 ~ 2008.07.20	ルールフェスティバルの一環として開催される宮島達男の個展
5	<< La Laque, resine precieuse >>	カナダ	モントリオール	The Japanese Pavilion of the Montreal Botanical Garden	The Montreal Japanese Garden and Pavilion Foundation	2008.05.15 ~ 2008.10.31	日本漆工協会と日本うるし掻き技術保存会の協力を得て、伝統的な漆工芸の工具、工程を紹介する写真パネルと作品の展示を通じて、日本の漆工芸の魅力を紹介
6	Heavy Light:Recent Photography and Video form Japan	米国	ニューヨーク	International Center of Photography	International Center of Photography	2008.05.16 ~ 2009.09.07	「日本の伝統」「消滅しつつある自然」「コスチューム・プレイによるアイデンティティ」「文化的アイコンとしての子供」の4つのテーマのもと、日本の現代写真・ビデオアート作家14名の作品約80点を紹介。
7	2008 Biennale of Sydney:Revolutions-Forms That Turn Art Compass 2008	オーストラリア	シドニー	Art Gallery of New South Wales	Biennale of Sydney Limited	2008.05.18 ~ 2008.09.07	第16回目のシドニー・ビエンナーレの芸術監督はCarolyn Christov-Bakargiev でタイトルはRevolutions-Forms That Turn。1913年から現在までの80作家を出品。日本からはアトリエワン、倉重迅、草間弥生、村上三郎、小野洋子、田中敦子の作品が出品された。

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
8	Grteat New Wave Contemporary Art from Japan	カナダ	ハミルトン	Art Gallery of Hamilton	Art Gallery of Hamilton	2008.05.22 ~ 2008.09.07	文化的な伝統を意識しながらグローバル化する未来への展望を提案しつづけている日本の次世代の作家たち—秋山さやか、池田学、開発好明、名和晃平、やなぎみわ—を紹介
9	Kakejiku, Contemporary Art From Japan exhibition	ラトビア	リガ	Museum of Foreign Art Latvia	The Museum of Foreign Art Latvia	2008.05.24 ~ 2008.07.08	リーガ国立海外美術館における、伝統的な「掛け軸」という見せ方で紹介する日本の現代美術展。46名の日本人作家による作品の展示となる
10	Yoshitomo Nara Exhibition at BALTIC Center for Contemporary Art	英国	ゲイツヘッド	BALTIC Center for Contemporary Art	BALTIC Center for Contemporary Art	2008.05.26 ~ 2008.10.19	現代美術作家奈良美智とクリエイティブデザインユニット・グラフのコラボレーション作品を展示。BALTICでのインスタレーションは奈良にとって英国初の展示会となり、日本国内で好評を博した「AtoZ」プロジェクトの海外版を実施。
11	J-POP, G-POP	ドイツ	ドルトムント	Kuenstlerhaus Dortmund	Kuenstlerhaus Dortmund	2008.05.29 ~ 2008.10.05	1997年に続き、大阪のCASを拠点として活躍する笹岡敬が選定した日本人アーティストを紹介
12	DREAM AMSTERDAM 2008-Ryoji Ikeda	オランダ	アムステルダム	Site-spesific locations	Dream Amsterdam Foundation	2008.06.06 ~ 2008.06.21	世界から著名な現代ヴィジュアルアーティストを招聘するアートイベント DREAM AMSTERDAM。日本からエレクトロニクス・ミュージックアーティスト池田亮司を招聘。アートを壁の中でなく野外で観客に見てもらうサイトスペシフィックな本展覧会はアムステルダムのパブリックスペースを作家たちの舞台、劇場とした。
13	Toward the Essence	ポーランド	ワルシャワ	Dept. of Information Center, Japanese Embassy	Ktodzki Osrodek Kultury	2008.06.06 ~ 2008.06.30	二人のポーランド人作家と二人の日本人作家（永原ゆり、小本章）との対話展
14	HAPTIC:Awakening the Senses	英国	ロンドン	Gallery 4, The Lighthouse	The Lighthouse, Scotland's Centre for Architecture, Design & The City	2008.06.18 ~ 2008.09.29	原研哉の監修による「HAPTIC」=「触覚を喜ばせるデザイン」展。日本で活躍するデザイナーの触覚性を物づくりの第一義とし、毛の生えた提灯、柔らかいドアノブ、果皮そのままのジュースパック、蛙の卵のようなコースターなどの作品20数点を紹介。

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
15	SITE Santa Fe Seventh International Biennial Lucky Number Seven	米国	サンタ・フェ	SITE Santa Fe	SITE Santa Fe	2008.06.20 ~ 2009.01.04	サンタ・フェで開催される国際アートビエンナーレの第7回展。世界19ヶ所の提携美術館から推薦され、キュレーターを選定した約20名の作家が参加。2008年は水戸芸術館が日本における提携先となり、藤浩志が参加した。
16	Japonisme in Belgium	ベルギー	ブリュッセル	City Hall, Grand-Place	Asbl Bruxelles-Musees-Expositions / City of Brussels-Department of Culture	2008.06.24 ~ 2008.09.28	日本の浮世絵とその影響を受けたベルギーの作家20名の作品を紹介する展覧会。ポーランドのMangghaセンター所蔵浮世絵40点と、ベルギー作家の作品100点をからなる。日本美術の影響を受けたといわれるアール・ヌーヴォーの中心都市でもありオルタ建築があるブリュッセルで、西洋に影響を与えた日本文化を紹介する。
17	Renoir /Umehara: a friendship	フランス	カーニュ・スエール・メール	Renoir Museum	Renoir Museum	2008.06.28 ~ 2008.10.06	ルノワールと彼に師事した梅原龍三郎の友情を紹介する、梅原の小作品とルノワールの書簡・写真資料の展示会
18	The Art of the Animated Film: Paul GRIMAULT, TAKAHATA Isao, MIYAZAKI Hayao	フランス	フオントヴロー	Abbaye de Fontevraud	Abbaye Royale de Fontevraud - Centre Cultural de l'Ouest	2008.06.28 ~ 2008.11.16	フランスの偉大なアニメーション作家であるポール・グリモーとその影響を受けたスタジオジブリの高畑勲、宮崎駿の作品を紹介する展覧会。作品の絵コンテ、イメージボード、資料の展示の他映画上映、講演会も実施。
19	Ukiyo-e prints in the Corfu Museum of Asian Art.Temporary Exhibition.	ギリシャ	コルフ	Museum of Asian Art	Museum of Asian Art	2008.06.30 ~ 2009.03.31	アジアアートミュージアムで開催される浮世絵版画展。同館への主な寄付者でもあるGr. Mano氏の1200点ある浮世絵コレクションから江戸時代浮世絵作家菱川師宣、奥村政信、東洲斎写楽、磯田湖龍齋、葛飾北斎、喜多川歌麿など30-50点を紹介。
20	Isamu Noguchi at Yorkshire Sculpture Park	英国	ウェイクフィールド	Yorkshire Sculpture Park	Yorkshire Sculpture Park	2008.07.18 ~ 2009.01.11	欧州初のイサムノグチの大型展覧会。野外作品から、陶芸、インテリアデザイン、デッサンまで同作家の様々な作品を展示。
21	No Wall:Art and Friendship	タイ	バンコク	Kuru Sapha Printing House	The Faculty of Painting Sculpture and Graphic Arts	2008.08.16 ~ 2008.08.30	アジアの域内ネットワーク形成・拡大を目的とし、シラパコーン大学の教師である作家と日本、韓国、インドネシア、ベトナムの作家たちが展覧会、パフォーマンス、シンポジウム等を実施。



## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
22	Art exhibition 'Yayoi Kusama'	オランダ	ロッテルダム	Museum Boijmans Beuningen	Stichting tot Beheer Museum Boijmans Van Beuningen	2008.08.23 ~ 2008.10.19	絵画40点、彫刻12点、映像インスタレーション6点、インスタレーション4点からなる草間彌生の個展。60年代にニューヨーク滞在中毎年訪蘭、展覧会を開催していた草間とオランダの関わりは深く本展覧会では60代以降近年までの作品を展示。
23	Exhibition of Shinji Ogawa's works in Krakow	ポーランド	クラクフ	The Bunkier Sztuki Contemporary Art Gall	The Bunkier Sztuki Contemporary Art Gallery	2008.08.27 ~ 2008.11.30	現代美術家・小川信治のビデオ・インスタレーション、ペインティング、ドローイング作品の展示
24	Hokusai and Hiroshige - Japanese Landscape prints of the Edo Period	フィンランド	ヘルシンキ	Ateneum Art Museum	Ateneum Art Museum	2008.09.05 ~ 2008.12.07	葛飾北斎の風景画と歌川広重の東海道五十三次と木曾街道六十九次旅景色の浮世絵195点を紹介。原安三郎秘蔵浮世絵風景画コレクションとして京都や東京でも開催された当展は海外初公開。
25	Artist residency and exhibition at REDCAT by Atelier Bow Wow	米国	ロサンゼルス	The Gallery at REDCAT	California Institute of the Arts on behalf of REDCAT	2008.09.15 ~ 2009.04.05	アトリエ・ワン（塚本由晴と貝島桃代）をロサンゼルスに3カ月招聘するアーティスト・イン・レジデンス事業。招聘中に新作を発表するほか、ロサンゼルスのアーティスト、学生等との意見交換、交流の場を設定。
26	Three female voices from Japan	ドイツ	ライプツィヒ	LIA-Leipzig International Art Programme	LIA	2008.09.17 ~ 2009.09.28	旧紡績工場跡地にあるアーティスト・イン・レジデンスを行うNPOが開催する日本人の女性作家3人展。小野寺綾、江幡京子、安岐理加が出品
27	Liverpool Biennial: International 08 Exhibition	英国	リバプール	Public realm sites	Liverpool Biennial of Contemporary Art Ltd.	2008.09.20 ~ 2008.11.30	英国最大の近代芸術フェスティバル「リバプール・ビエンナーレ」。「Made-up」をテーマに40人の国際アーティストが招聘され、日本からは草間彌生とアトリエ・ワンが参加。当展覧会は今年10周年を迎え、「欧州文化都市」に認定されたリバプールでの開催
28	Mad. Sq. Art:Tadashi Kawamata	米国	ニューヨーク	Madison Square Park	Madison Square Park Conservancy	2008.09.23 ~ 2008.12.31	川俣正がニューヨークに滞在して実施したワーク・イン・プログレス展示事業。フラット・アイアン地区の中心マディソン・スクウェア公園に10軒のツリーハウスを制作した。

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	MURAKAMI	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt	Museum of Modern Art Frankfurt	2008.09.26 ~ 2009.01.04	日本のポップカルチャーを取り入れた作品で知られる村上隆の大規模な個展。ロサンゼルス、ニューヨーク、ビルバオに巡回
30	The Mingei Spirit in Japan	フランス	パリ	ケ・ブランリー美術館	Ettablissement public du Musée du quai Branly	2008.09.29 ~ 2009.01.11	「民藝」運動の創始者柳宗悦と、子息のデザイナー柳宗理を中心とした日本の民芸、建築・デザイン・美術の分野で日本で活動したブルーノ・タウト、チャルロット・ペリアン、イサム・ノグチの3名の国際人の活躍、そして1950年代までの日本のデザインを紹介
31	Hie Sanno Sairei-Zu	米国	ヒューストン	The Museum of Fine Arts, Houston	The Museum of Fine Arts, Houston	2008.10.01 ~ 2008.12.31	2008年に東京文化財研究所での修復を終える「日吉山王祭礼図」を展示し、日本の保存修復技術の成果を多角的に紹介する展覧会
32	New Bamboo: Contemporary Masters	米国	ニューヨーク	Japan Society	Japan Society, Inc.	2008.10.04 ~ 2009.01.11	日本で最近制作されたアートとしての竹工芸作品（抽象的な立体作品）を展示するとともに、竹工芸に関する3ヶ月の集中講座や作家によるワークショップを実施
33	International Sculptors Encounter	ボリビア	サンタ・クルス	Manzana Uno Plaza	Manzana 1 Espacio de Arte	2008.10.11 ~ 2008.10.18	7名の彫刻家を招いた彫刻のシンポジウム。日本からは2名のアーティストを招へい。
34	KUROSAWA, DESSINS	フランス	パリ	Petit Palais	Petit Palais, Musée des Beaux-Arts de la Ville de Paris	2008.10.15 ~ 2009.01.04	映画監督黒澤明のヨーロッパ初公開となるデッサン原画90点の展覧会。日仏友好150周年を記念しプチパレ美術館で開催される2大展覧会のひとつ。
35	The Walker Art Center-organized exhibition Tetsumi Kudo, 1935-1990: A Retrospective	米国	ミネアポリス	Walker Art Center	Walker Art Center	2008.10.18 ~ 2009.01.11	工藤哲巳の回顧展
36	East-West Tashkent Crossroad	ウズベキスタン	タシケント	Tashkent House of Photography	Tashikent House of Photography	2008.10.20 ~ 2008.10.27	写真とビデオによる作品に焦点をあてた国際現代美術展。パリ在住の日本人アーティスト3人を招へい。

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
37	JAPAN AT THE 10TH INTERNATIONAL BIENNIAL OF THE POSTER IN MEXICO	メキシコ	メキシコ	Franz Mayer Museum And City Theater Xalapa Veracruz	TRAMA VISUAL A. C. icograda member MEXICO	2008. 10. 27 ~ 2009. 01. 11	10回目を迎えるメキシコ国際ポスター・ビエンナーレで、2008年は日本が特別招待国。著名デザイナーらが審査委員長およびスピーカーとして招聘され、25人の日本のデザイナーの作品が展示された。
38	BETWEEN ART AND LIFE	スイス	ジュネーブ	Centre d'Art Contemporain	Centre d'Art Contemporain Geneve	2008. 11. 28 ~ 2009. 02. 01	島袋道浩、ウエダリクオ、泉太郎、澤田知子、アトリエ・ワンなど日本の新生代のパフォーマンス・アーティスト10人を全館を使って紹介するスイス初の展覧会
39	TOKO SHINODA EXHIBITION	イタリア	ミラノ	TRIENNALE JAPANESE CULTURAL INSTITUTE SALA D' ARMI, PALAZZO VE	ITALY JAPAN FOUNDATION	2009. 03. 10 ~ 2009. 04. 05	現代抽象水墨絵を描く篠田桃紅のイタリア初の展覧会
40	Tradition & Innovation of Japanese (Pop) Culture :Its Contribution to Visual Literacy in the Youth World	米国	ニューヨーク	Teachers College Columbia Univ., NY	CSU, Chico	2009. 01. 15 ~ 2009. 02. 28	日本のポップカルチャー、特に漫画の影響力を再確認するため、日本の漫画家・児童による漫画、各国の漫画家・児童による漫画を展示し、その歴史的背景から現代に至るまでの変遷を紹介
41	Move On Asia 2008_Video Art Network Project	韓国	ソウル	Alternative Space LOOP	Alterative Space LOOP	2009. 02. 06 ~ 2009. 03. 03	アジア太平洋地域のビデオアートの新興と域内のネットワーク形成が目的。各国のキュレーターが作家と作品を選定して展覧会を企画・制作し、その展覧会を関係各国に巡回。
42	Japan exhibition catalogue	オーストラリア	シドニー	Art Gallery of South Australia	Art Gallery of South Australia	2009. 03. 05 ~ 2009. 05. 31	南オーストラリア州立ギャラリー所蔵品、その他のオーストラリアに存在する日本美術品を通史的に展示する企画
43	Seminars of Japanese Culture for the International Cultural Exhibition Great Silk Road - East-West dialogues	キルギス	ビシュケク	Kyrgyz National Museum of Fine Arts	Kyrgyz National Museum of Fine Arts	2009. 03. 10 ~ 2009. 03. 25	1998年以降継続開催している「西と東の対話シルクロード展」で日本美術にスポットをあて実施。日本から専門家・美術家を招き講演会、マスタークラスを開催。
44	BETWEEN SITE & SPACE	オーストラリア	シドニー	ARTSPACE	ARTSPACE VISUAL ARTS CENTRE	2009. 03. 12 ~ 2009. 04. 18	トウキョウワンダーサイトとアートスペースの共同事業。日豪のキュレーターが各3名作家を選定し、両スペースでレジデンスと展覧会を実施。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
45	Another City	カナダ	バンクーバー	バンクーバー国際アジア・コンテンポラリーアート・センター	Vancouver International Center for Contemporary Asian Art	2009.03.13 ~ 2009.04.25	変化し続ける都市とイメージをテーマにした須田悦弘とフィリピン出身、バンクーヴァー在住のポール・ドゥ・グズマンの二人展。小倉正史と原万希子の共同企画。
46	Kuniyoshi	英国	ロンドン	The Royal Academy of Arts	The Royal Academy of Arts	2009.03.21 ~ 2009.06.07	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳の企画展。作家の5500点以上の作品のうち「水滸伝」等の秀作150点の浮世絵と関連絵画、素描、挿絵本から構成

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 美術交流促進国内展 (助成)

国内の美術館・博物館等が国内において企画・実施する展覧会で、これまで日本に紹介される機会の少なかった諸外国の優れた美術・文化を紹介するものに対し、経費の一部を助成する。

合計額 8,300,000 円

	事業名	対象国	助成機関	都市	期間	事業内容
1	第24回東川賞受賞作家作品展	ブラジル	東川町写真の町実行委員会	北海道東川町	2008.08.02 ~ 2008.09.02	写真の町東川賞(海外作家賞、国内作家賞、新人作家賞、特別賞)受賞者の受賞作および代表作品による展覧会。海外作家賞はブラジルを対象とした。
2	ICC+S-AIR2008創造資源開発事業	アイルランド シンガポール タイ フランス	特定非営利活動法人 ICC+S-AIR	札幌市	2008.09.10 ~ 2009.03.10	エクステンジブプログラムとプロジェクトプログラムから構成される、地域資源を創造資源として活用する方法を研究するアーティスト・イン・レジデンス・プロジェクト。北アイルランド(Queen Street Studios)、タイ(コンピュン創造村)、フランス(ニコラ・ブラー)、シンガポール(ロイストン・タン)等と人的交流を実施。
3	アジアとヨーロッパにおける自己像と他者像	全世界区分困難	国立民族学博物館	吹田市	2008.09.11 ~ 2009.03.29	国立民族学博物館と大英博物館が主導し、ASEMUS参加18カ国の博物館・美術館が共同で企画・立案したプロジェクト。人体表現を伴う芸術作品や展示品を歴史的にたどることを通じて、アジアとヨーロッパの互いの他者像と自己像を確認し、アジアとヨーロッパまたそれぞれ域内の相互理解深化を図った。
4	スリランカ文化遺産展	スリランカ	読売新聞東京本社 文化事業部	東京都	2008.09.17 ~ 2008.11.30	ヒンドゥー神像、仏像、仏具などスリランカの宗教芸術に至宝から宝飾品の数々などを紹介し、スリランカの多様な文化と歴史への関心を高め、あわせて観光やビジネスなどの交流を促進。
5	アート・イニシアティブ・ムーヴメント「SHOWCASE」	全世界区分困難	アート・イニシアティブ・シティ実行委員会	横浜市	2008.11.01 ~ 2008.11.03	国内外の優れた芸術活動実施・支援団体約50団体を招聘し、ブースを設けてその活動を複合的プログラムによって紹介する、芸術文化活動の「見本市」。シンポジウム開催により今後の地域間・国際間ネットワークの強化を目指した。
6	朝鮮王朝の絵画と日本 宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美	韓国	「朝鮮王朝の絵画と日本」展開催事務局	宇都宮市	2008.11.02 ~ 2009.07.12	朝鮮王朝時代に焦点を宛て、前期風景画から末期の民画にいたる軸や屏風約200点を紹介。また俵屋宗達、池大雅、伊藤若冲らの朝鮮絵画に影響を受けていると思われる作品を取り上げ、朝鮮絵画の日本絵画への波及にも注目。
7	ブラジルの現代写真表現	ブラジル	社団法人日本写真協会	横浜市	2008.11.14 ~ 2008.11.26	ミゲル・チカオカ氏をはじめとするブラジルの写真家6名による120点の作品を通じて現代ブラジルの写真表現を紹介。チカオカ氏によるワークショップも実施。

造形美術事業費

	事業名	対象国	助成機関	都市	期間	事業内容
8	アーティスト・イン・レジデンスプログラム	全世界区分困難	ワナキオ実行委員会	那覇市	2008. 11. 15 ～ 2008. 11. 30	「沖縄」という地域性を生かした、「町作り」に連携したレジデンス事業と、アジアとのオルタナティブ・スペース間の美術関係者のネットワーク形成を2本柱にした事業。前島アートセンターを中心にNPO系関係者が企画。
9	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2008-2010	全世界区分困難	「ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流」委員会	東京都	2008. 12. 05 ～ 2008. 12. 21	2001年に開始した同シリーズの5回目。ピーター・クック、伊東豊雄両氏のコミッションにより、ヨーロッパ8組、アジア・パシフィック8組の将来を嘱望される建築家を紹介し、建築の最前線を伝えた。

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (7) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 18,068,433 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日米学芸員交流	Cornelia Butler Roxana Marcoci Sarah Suzuki 笠原美智子 建島 哲 住友 文彦 松井 みどり	ニューヨーク近代美術館 素描部学芸員 ニューヨーク近代美術館 写真部学芸員 ニューヨーク近代美術館版 画・絵本部学芸員 東京都写真美術館事業企画 課長 国立国際美術館 館長 ヨコハマ国際映像祭ディレ クター 美術評論家	米国	2008.06.23 ~ 2009.03.31	米国で計画される戦後日本美術 ソースブックの出版に向け、米国 学芸員と日本の美術関係者の懇談 会を実施。ニューヨーク近代美術 館でのシンポジウムに際し、日本 からの学芸員や美術評論家などの 専門家を派遣
2	アヴァンギャル ド・チャイナ展	黄永砫(ホアン・ヨンピン) 高名潞 徐文恺 新刻度小組 孫原 丁碩 丁乙(ディン・イー) 張棕楊 費大為(フェイ・ダーウェ イ) 方力鈞(ファン・リジュン) 楊福東(ヤン・フードン) 彭禹	美術家 美術評論家 美術家 美術家 美術家 孫原・彭禹の設営・修復ア シスタント 美術家 孫原・彭禹の設営・修復ア シスタント 美術評論家 美術家 美術家 美術家	中国	2008.08.20 ~ 2009.05.24	中国現代美術の歴史をたどりつ つ、すでに評価を確立した代表的 な作家から今後活躍が期待される 若手まで、注目すべき作家たちに 焦点をあてて展覧。80年代のバブ ル経済、90年代の停滞期を経験し てきた日本の美術状況に比して、 中国では何が起きて、どのような 作家たちがどのように活動を実現 してきたかを明らかにしつつ、パ ワフルで魅力あふれる中国現代美 術を紹介。

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
3	第4回アジア次世代キュレーター会議	Cai Tao Gustaff H. Iskandar 橋本 梓 八巻 香澄 Lim Dae-geun Ryu Jiyeon Amerrudin Bin Ahmad Yap Sau Bin Michelle Ho Mohamed Arif Bin Zaini Somphot Sukaboon Penwadee Nophaket Manont Tezuko Miwako	Chief Curator, Chinese Modern Art, Guangdong Museum of Art Director, Common Room Networks Foundation Hafiz, Co-founder, ruangrupa 国立国際美術館 研究員 東京都庭園美術館 学芸員 Curator, National Museum of Contemporary Art, Korea Curator, National Museum of Contemporary Art, Korea Curator of Collection and Conservation, National Art Gallery Malaysia, Malaysia Chairman, Rumah Air Panas Art Society Assistant Curator, Singapore Art Museum Exhibition Officer, Institute of Contemporary Arts (ICA), Singapore Curator, The National Gallery, Bangkok Exhibition Coordinator, The Jim Thompson Art Center Associate Curator, Asia Society and Museum	中国 インドネシア 日本 日本 韓国 韓国 マレーシア マレーシア シンガポール シンガポール タイ タイ 米国	2008.11.17 ~ 2008.11.24	アジア各国の次代を担う美術館キュレーターが現地調査とその時々の特ピックをテーマに意見交換をするフォーラム。日本での開催は第1回目に続き2回目となるため、今回は日本の地方美術館がおかれている現状の理解と、1994年から継続して3年おきに実施しているアジア美術をめぐる国際シンポジウムとあわせて実施し、相乗効果を狙った。



造形美術事業費

3. 催し等事業費（トリエンナーレ） / (1) 国際展（トリエンナーレ）

大規模な国際美術展を日本国内において定期的を開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する。

合計額 233,435,805 円

	事業名	共催機関	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2008	横浜市、NHK、朝日新聞社	2008.09.13 ~ 2008.11.30	現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ2008」を横浜市、NHK、朝日新聞社と共催。水沢勉総合ディレクターによるタイム・クレヴァスという全体テーマの下、世界25カ国・地域から72名のアーティストが参加し、来場者は延べ30万人を超えた。